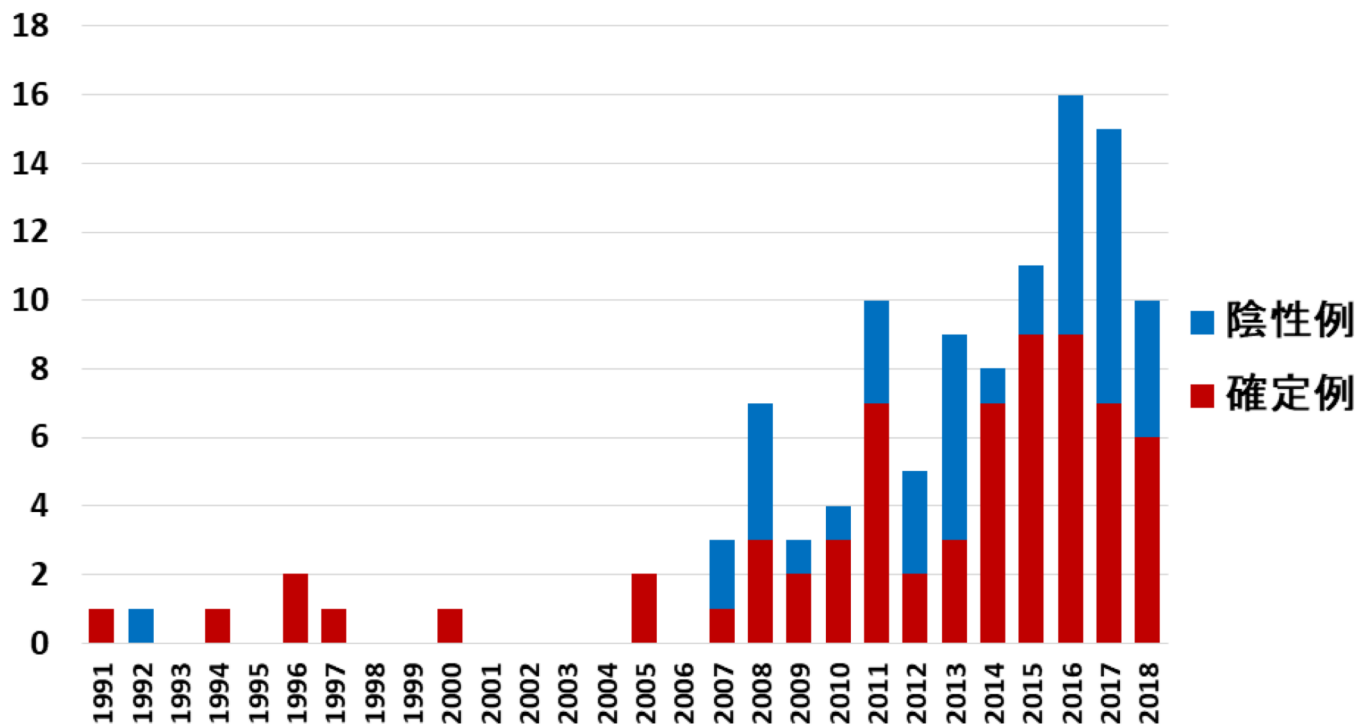


国立感染症研究所感染病理部における PMLの病理組織検体の解析

研究分担者：国立感染症研究所感染病理部 鈴木忠樹

研究協力者：国立感染症研究所感染病理部 高橋健太

年次別 感染病理部でのPML組織検索全症例 (n=110, うち確定67例)



解 説

1. 国立感染症研究所感染病理部では、生検あるいは剖検脳組織を用いて、免疫組織化学を含む形態解析と、組織から抽出したDNAのJCVゲノム検索による遺伝子解析を併用し、検索の精度を高めている。
2. これまでに110例のPMLの検索依頼を受け67例で診断確定されており、平成30年は11月末までに10例の解析を行い、6例で診断が確定され、結果は「PMLの診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学臨床調査」として研究班で情報共有した。
3. 脳脊髄液検索ではJCVが検出限界以下であったが、脳組織からの病理学的解析にてはじめて診断確定された症例も認めた。
4. 「診療ガイドラインの策定・改訂」として、進行性多巣性白質脳症診療ガイドライン2020作成のために、2017年版ガイドラインの改訂作業を行った。